

情報公開法の制度運営に 関する検討会説明資料

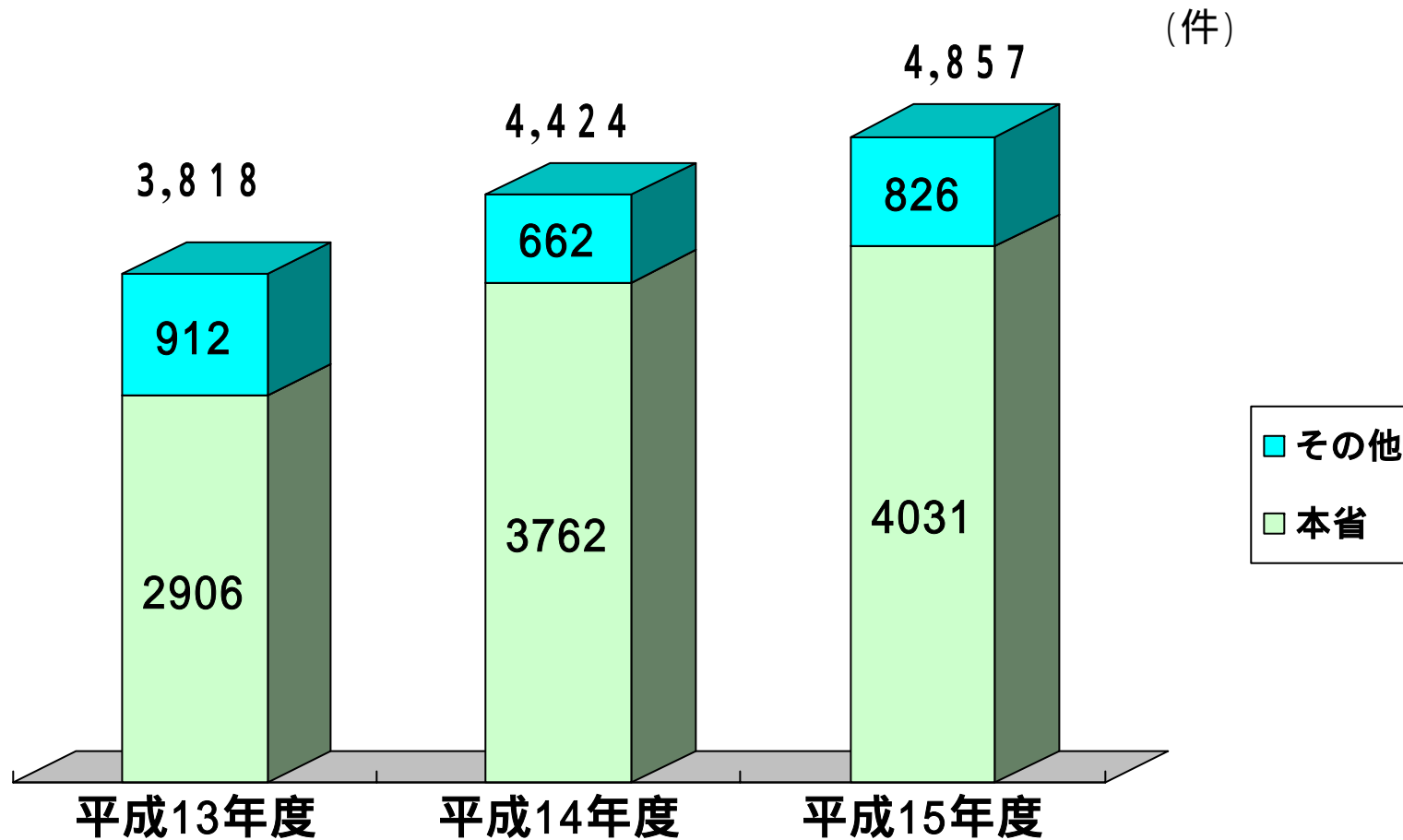
平成16年6月22日(火)

厚生労働省

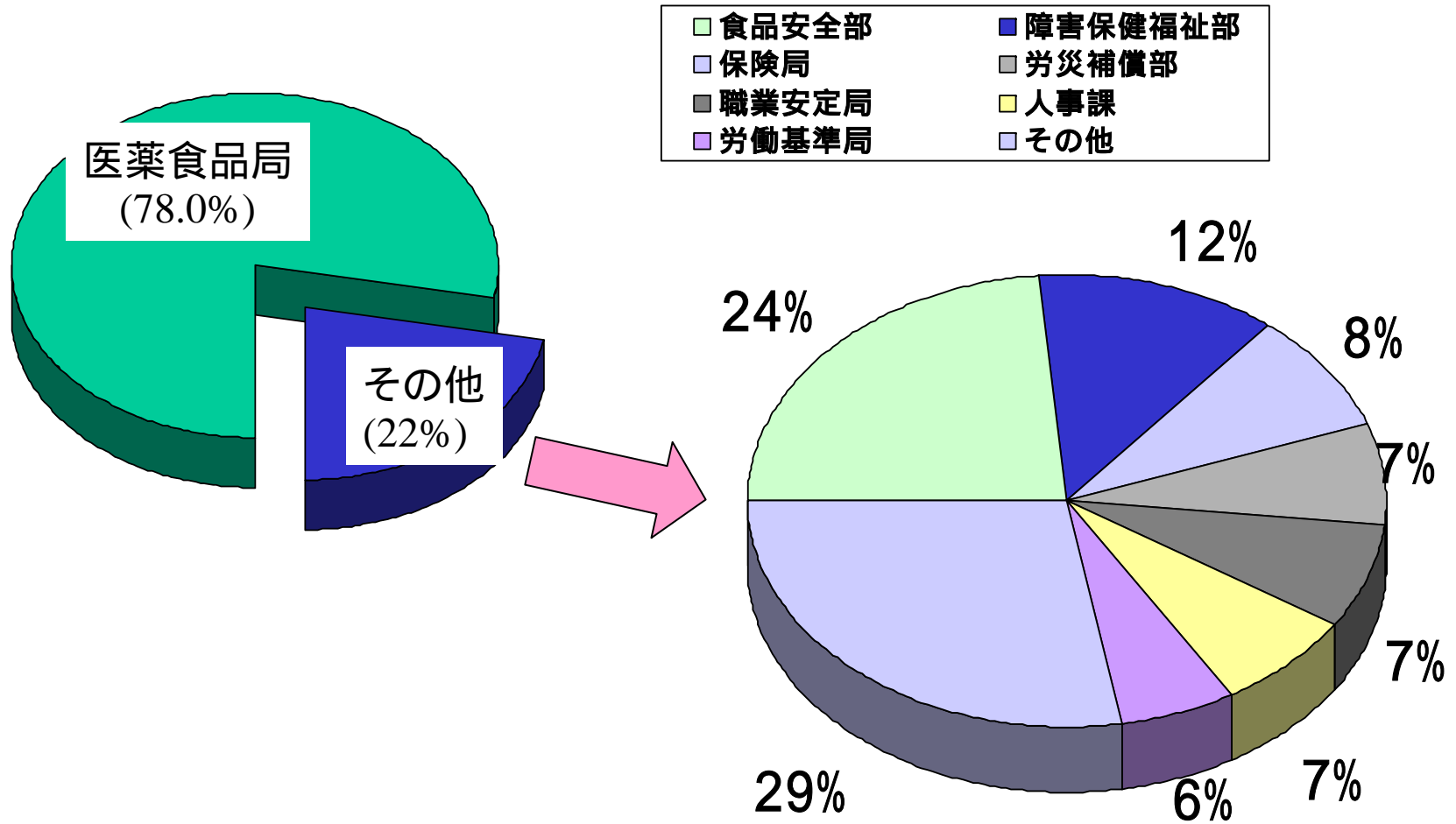
厚生労働省関係の情報公開に関する窓口

- **厚生労働省**
 - 施設等機関: 検疫所(13か所)、国立療養所(13か所)等
 - 地方支分部局: 地方厚生局(8か所)、都道府県労働局(47か所)
- **中央労働委員会事務局**
- **社会保険庁・・・地方社会保険事務局(47か所)**

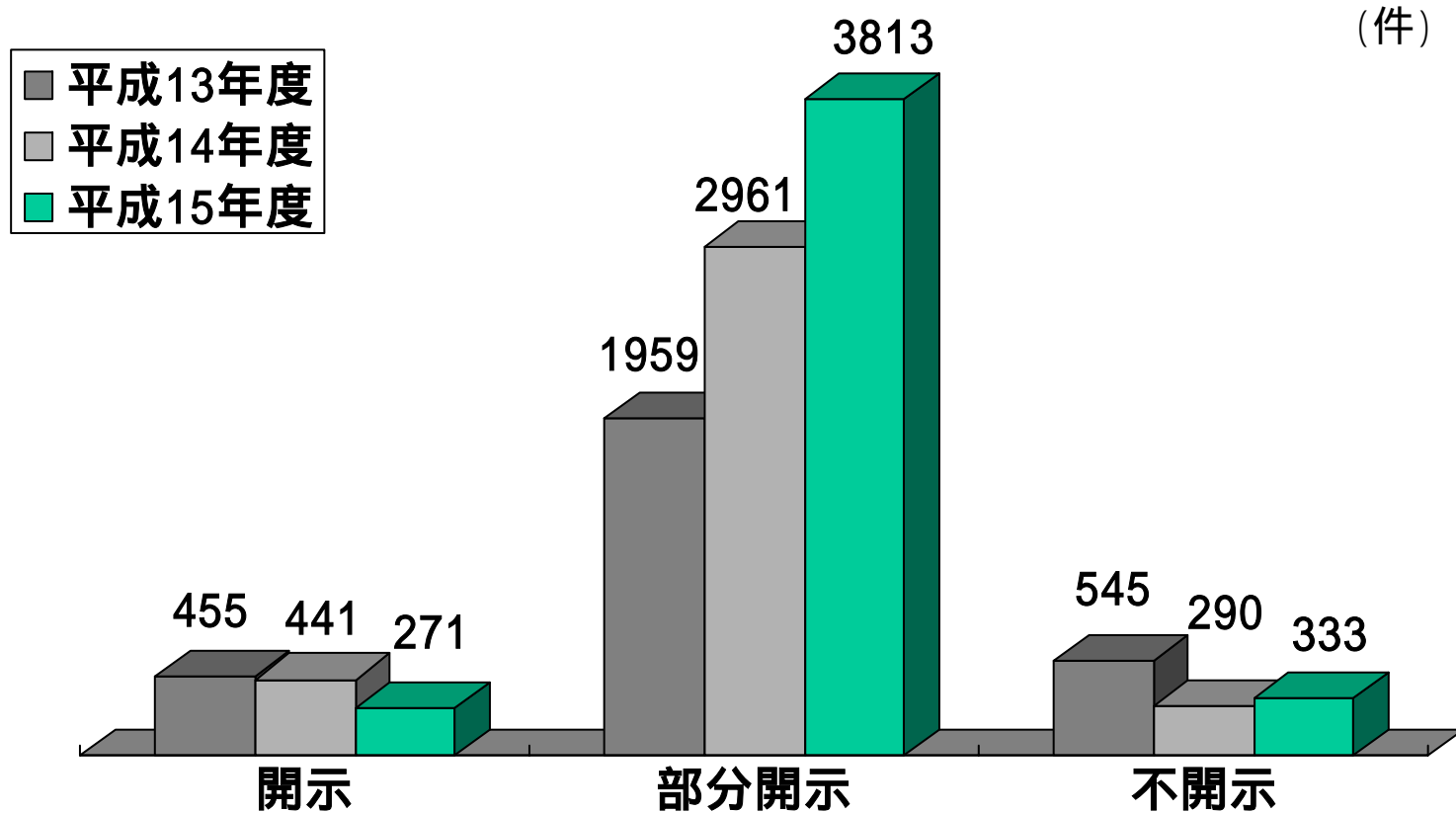
行政文書開示請求件数の推移



部局別開示請求件数(平成15年度。本省分)

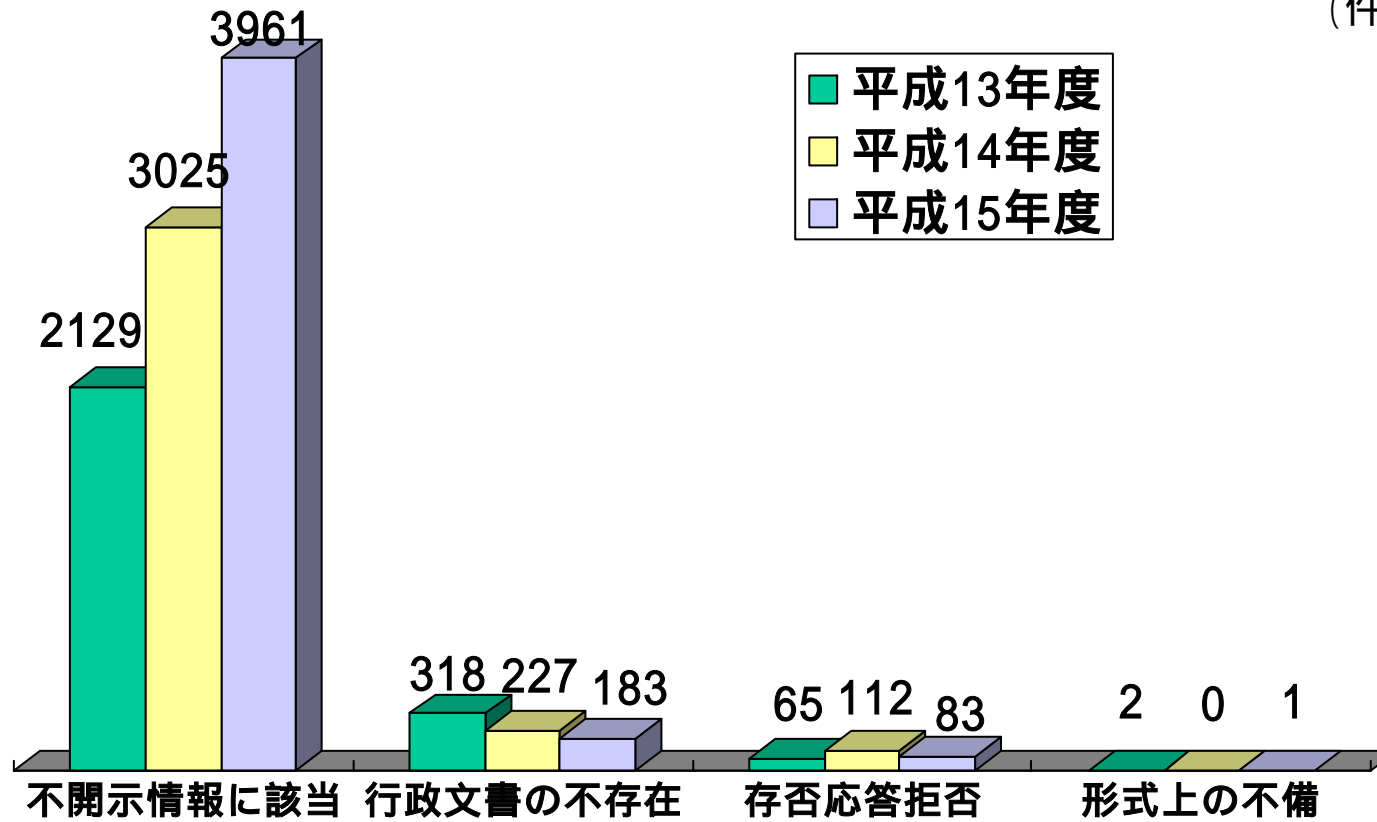


開示決定等の内訳

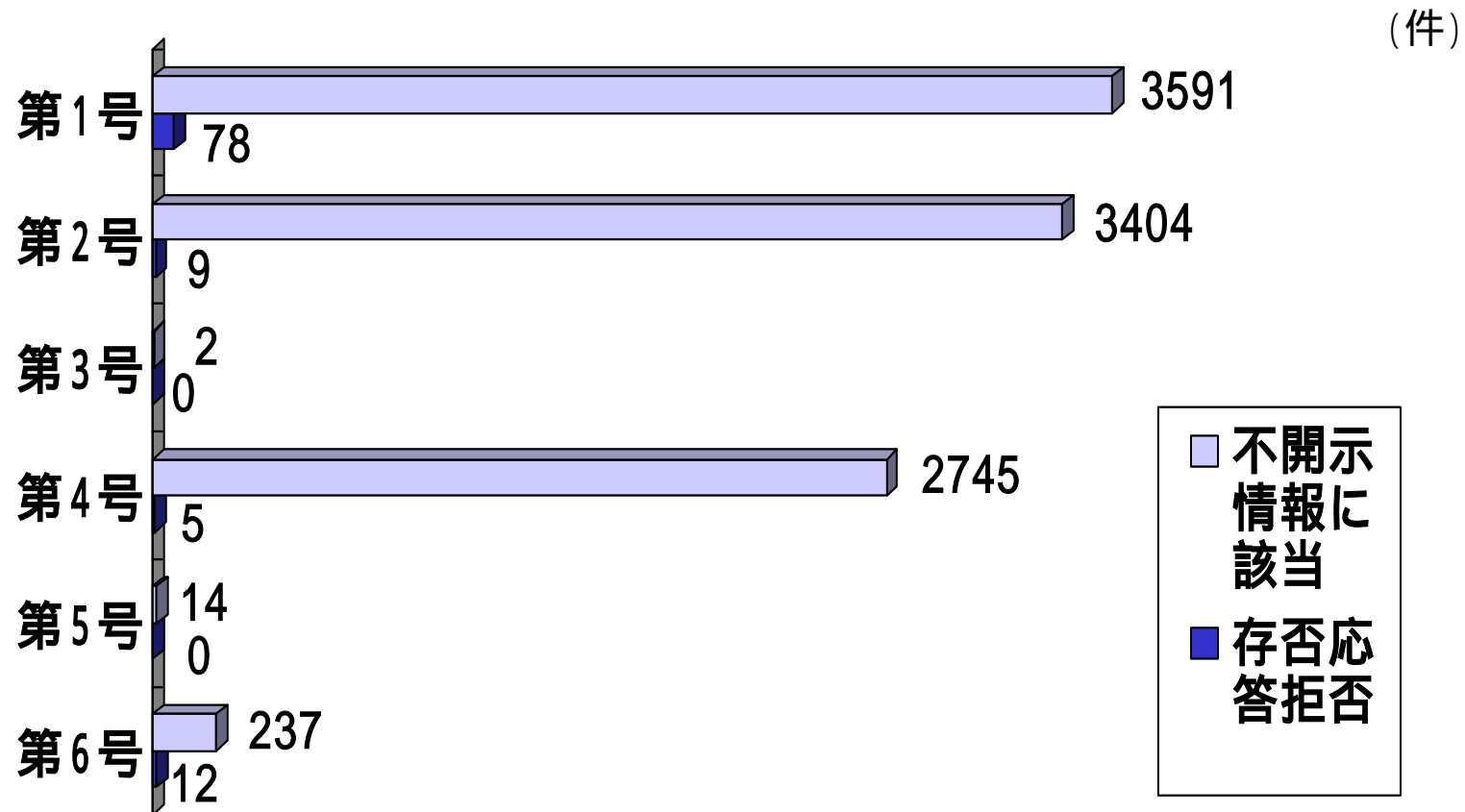


不開示理由

(件)

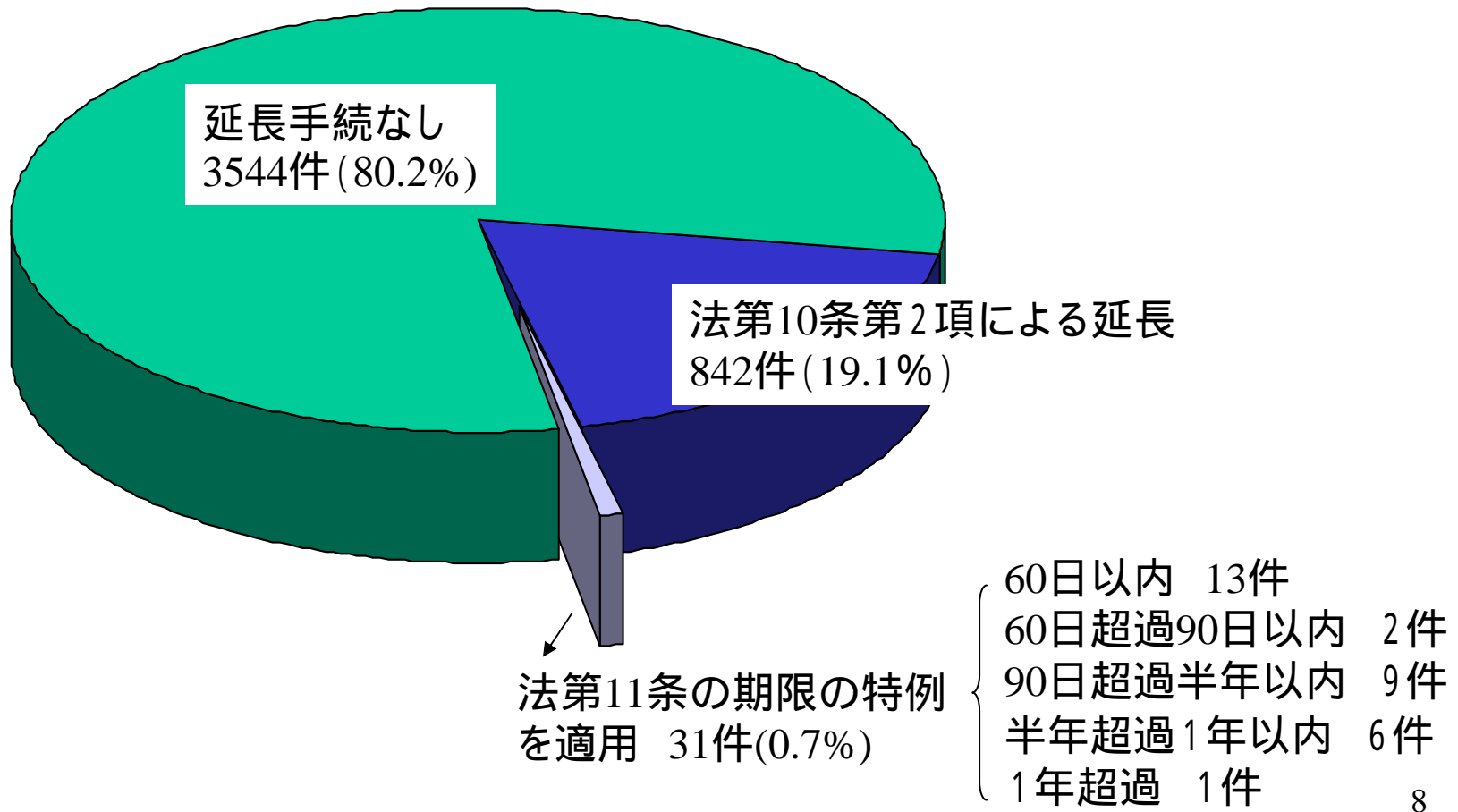


不開示理由の内訳(平成15年度。法第5条の該当号別)

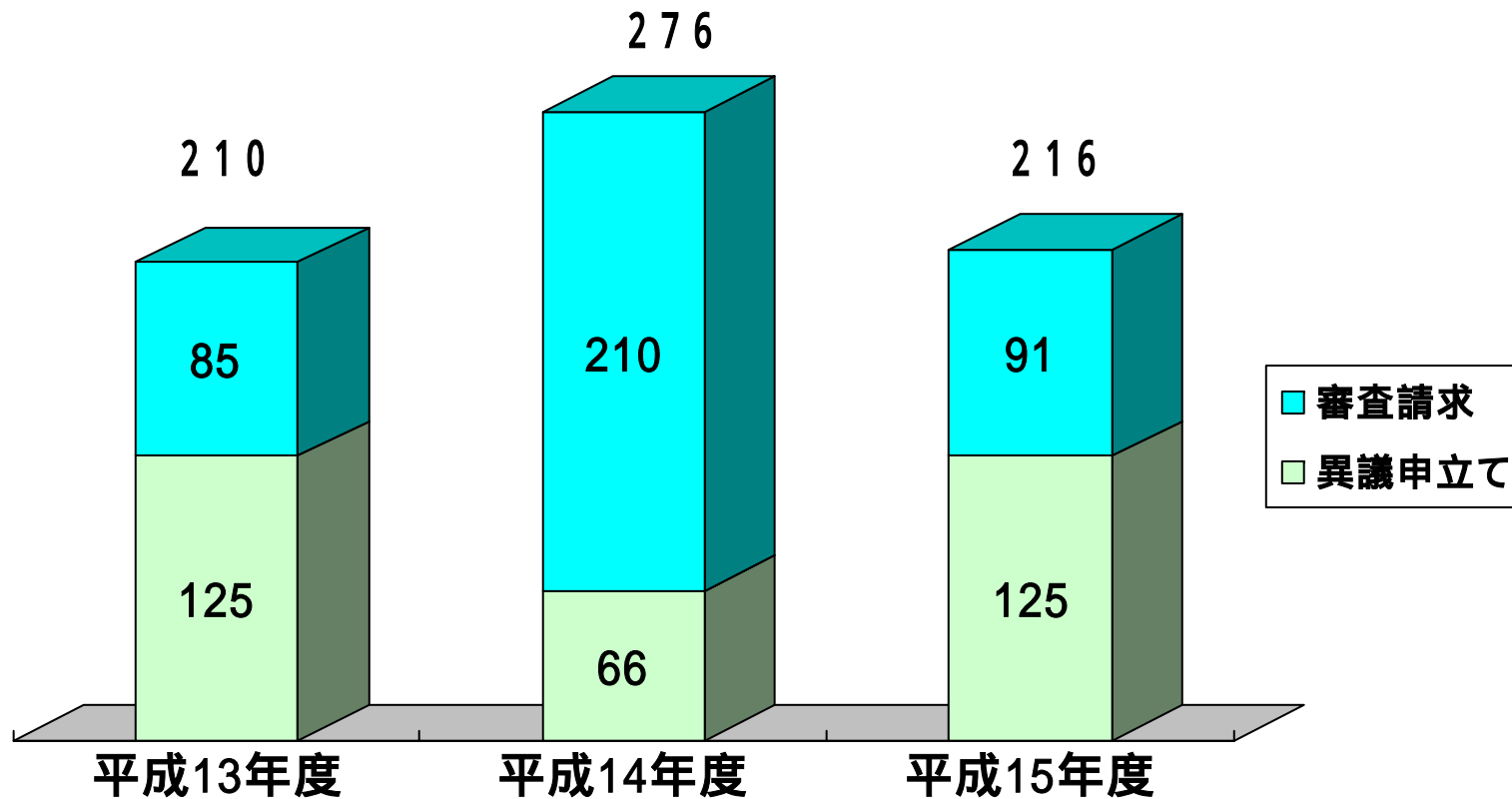


延長手続の状況

開示決定件数(平成15年度) 4417件



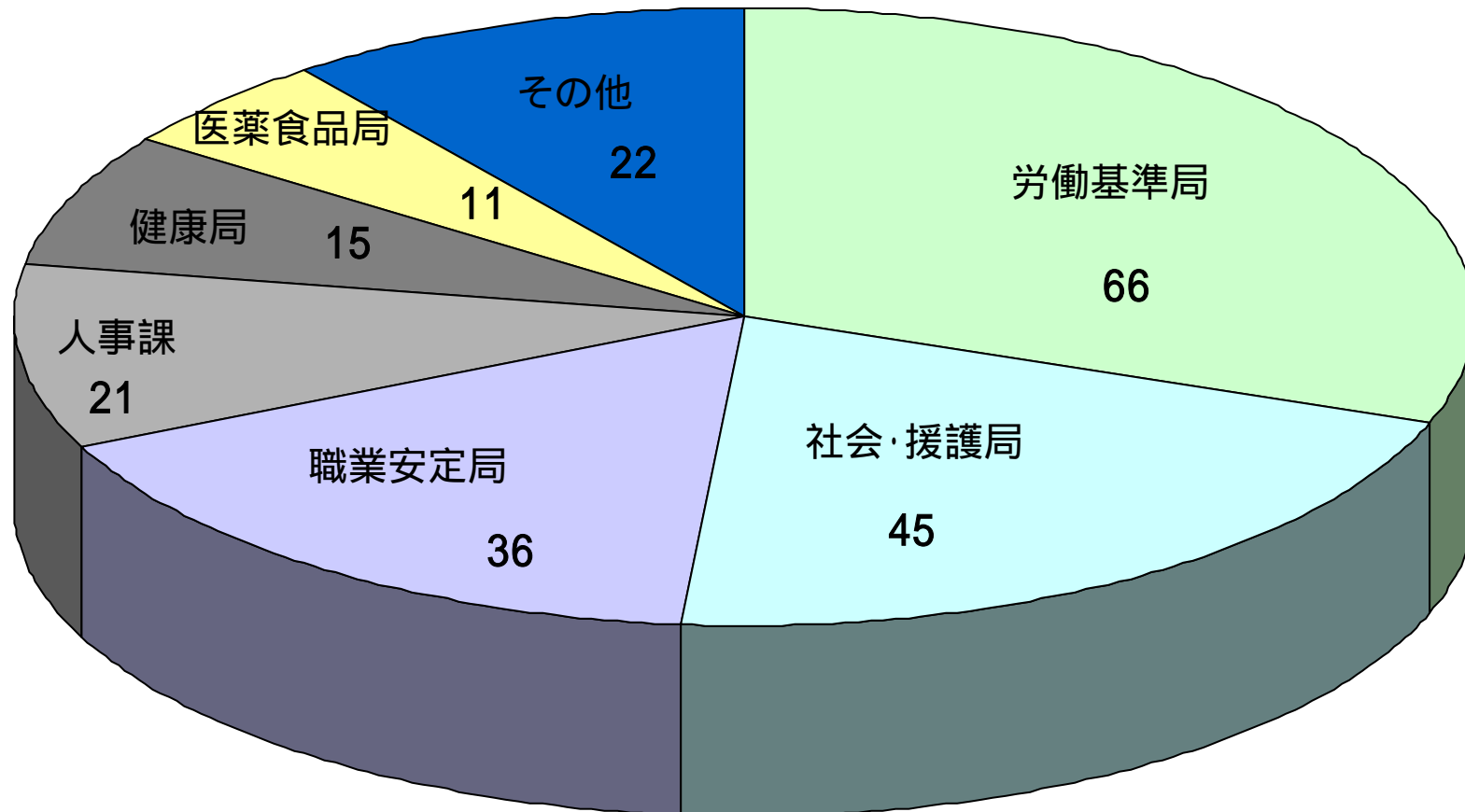
不服申立て件数の推移



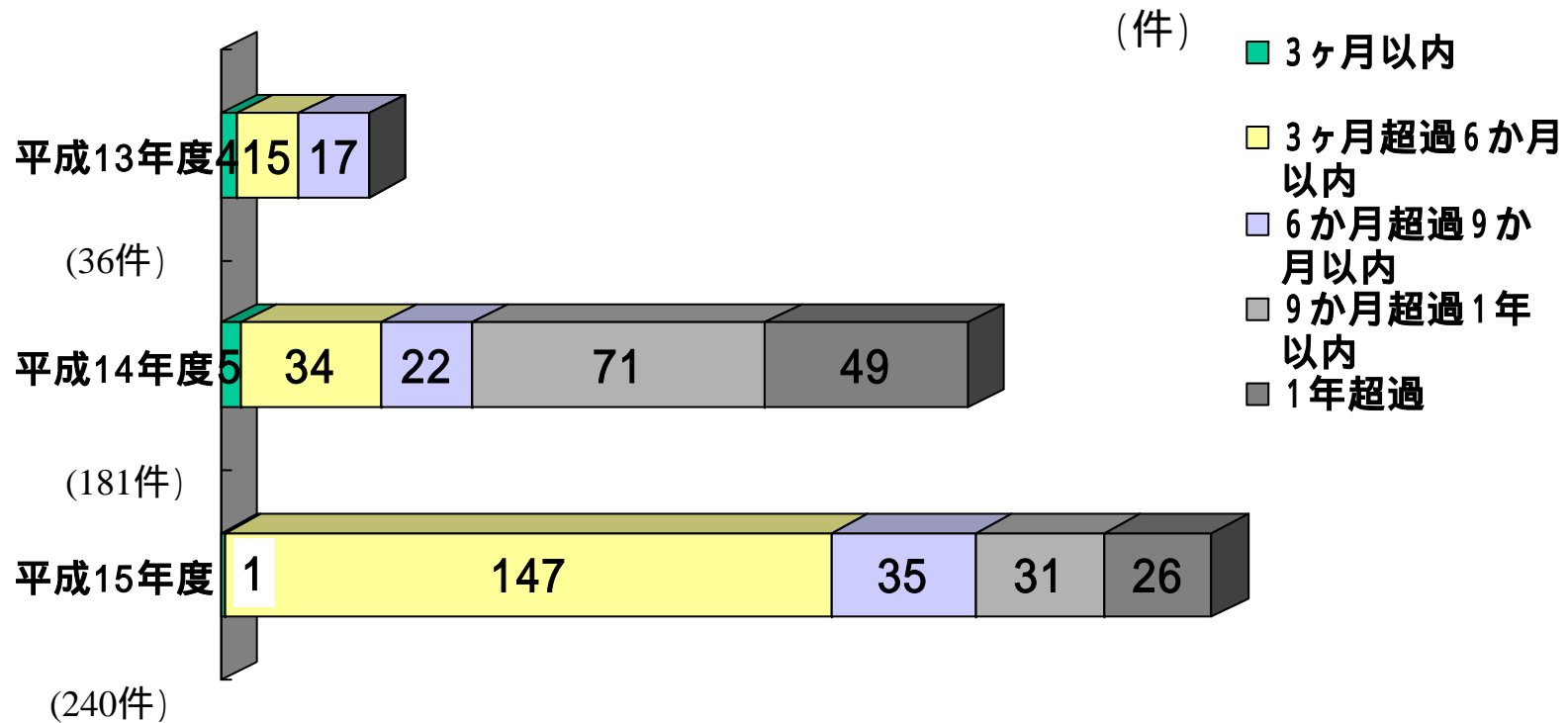
注：平成13年度のうち53件、平成14年度のうち121件はほぼ同一の案件。

部局別不服申立て件数(平成15年度)

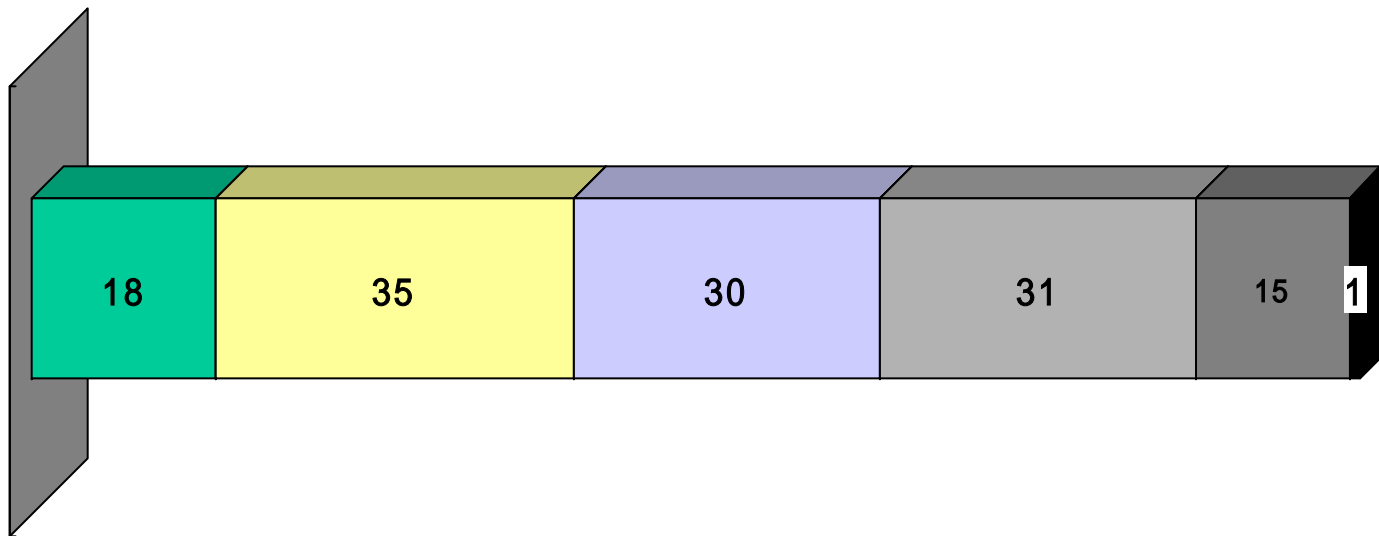
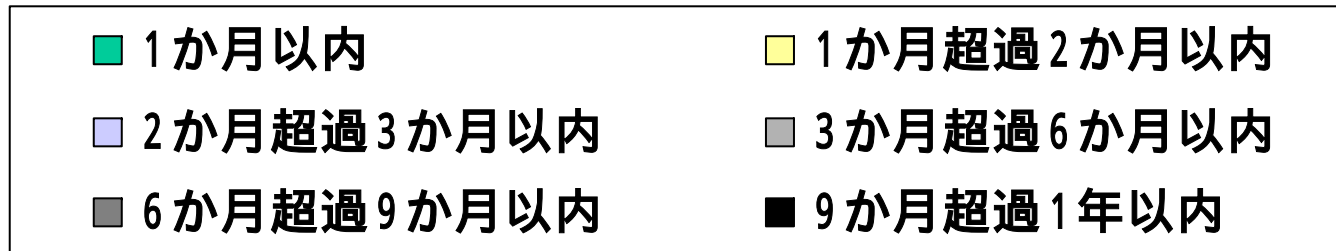
(件)



不服申立ての受付から裁決・決定等までの日数



不服申立ての受付から諮問までの日数 (平成15年度諮問分)

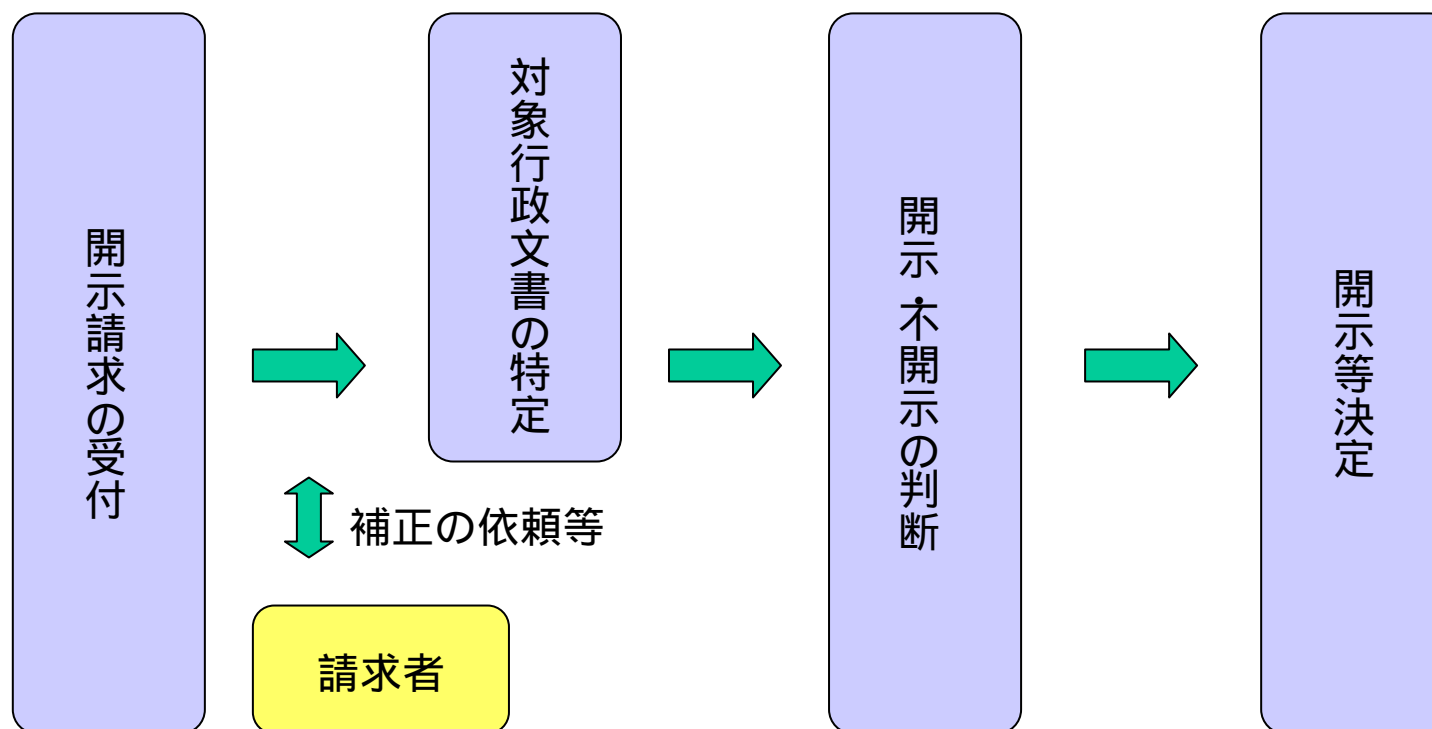


情報公開に関する訴訟の状況

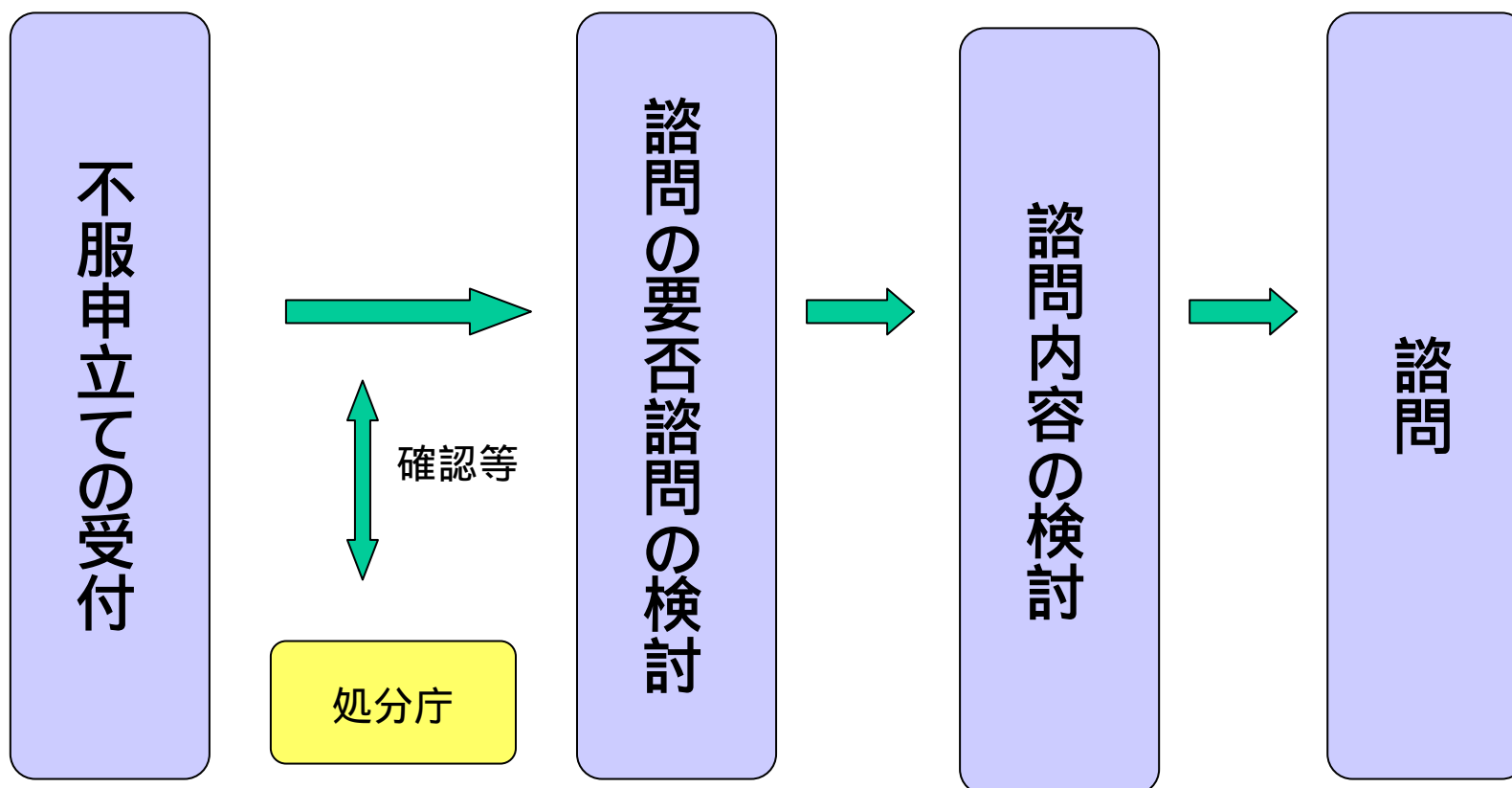
	地方裁判所					高等裁判所				
	新規	前年度から係属	判決	取下げ	審理中	新規	前年度から係属	判決	取下げ	審理中
平成13年度	4		1		3					
平成14年度	4	3	1	2	4	1	0	0	0	1
平成15年度	2	4	1	1	4	1	1	2	0	0

例：障害者雇用率未達成企業一覧、医薬品関係

厚生労働省本省における開示請求の受付から開示決定等までの流れ



不服申立てから諮問までの作業の流れ



情報公開制度運用上の課題

1. 特定の部局への請求が多い。
 - ・ 同一業界内の競合他社の情報を求める開示請求が大半。
2. 大量請求等への対応

3. 特定の個人、企業に関する情報を多く保有している。

- ・ 慎重な開示・不開示の判断が必要。
- ・ 意見照会が必要なケースも多い。

4. 開示・不開示の判断の上での疑問の例

- ・ 「公にされ、又は公にすることが予定されている情報」の確認

〔例〕地方公共団体、他の行政機関等の公表慣行、過去の報道事例等の確認をどこまで行うか。

・異なる方法による同一文書の開示請求への対応

〔例〕 同一文書について、 企業を特定した請求、 行政機関に文書が提出された期間を特定した請求等を行い、異なる部分が開示されることによって、結果として不開示情報を開示してしまうことへの懸念。

・全国的な請求への対応

厚生労働省における情報公開制度に 関する今後の課題等

- 適切な文書管理の必要性、情報公開制度の内容等についての一層の理解の促進
- 行政機関個人情報保護法の施行に向けた準備